天遊

大阪教育大学 広報誌

VOL.5 2006. SPRING

《特 集》

大学で学ぶ社会人

大学で学ぶ社会人

大阪教育大学には、大学を卒業後もう一度大学に通う社会人の方が少なからず在籍し、
特に夜間学部（第二部）や夜間大学院には、昼間は学校で教員をしている方を始め、
企業等で働きながら学ぶ方々が多く在籍しています。
また、学部や大学院の希望する授業科目を選んで受講できる科目等履修生の制度もあり、
資格取得や専門知識の習得を目指すなど様々な方がその制度を利用し、
一般学生に混じって授業を受けています。

平成15年に民間会社が行った調査によると、20～40代の社会人の2人に1人が大学・大学院に興味を持つ一方、費用の高さ、仕事での疲労、時間不足などが実際に大学で学ぶことの大きな障害となっています。また、文部科学省の学校基本調査によると、平成17年度の大学院学生（修士課程）のうち、社会人（企業等の退職者、主婦等を含む）は約2万人で、学生数に占める割合は、11・9％となっています。

それぞれ学ぶ目的やその形態は様々ですが、職業を持ちながら大学に通うことはそう簡単なことではありません。

しかし熱意と意欲さえあれば、社会人の方でも様々な方法で大阪教育大学で学ぶことができます。

◎夜間に学ぶ
―天王寺キャンパス

大阪教育大学には、天王寺キャンパスに夜間大学院2専攻（実践学校教育専攻、健康科学専攻）（修士課程）と夜間学部（小学校教員養成5年課程）があります。天王寺という立地と大学院を社会人向けに夜間開講しているということから、特に大学院2専攻では在籍学生約140名のうち約9割を社会人の方が占めています。

実践学校教育専攻は、平成8年に全国で初めて主に現職教員を対象に開設した夜間大学院です。入学される方は主に小学校の現職教員ですが、広く教育学や心理学、保健学などを学ぶため小学校教員以外の方の入学も増えています。

一方、健康科学専攻は、健康科学、生涯教育、発達人間学、スポーツ研究、生活科学および職業科学の諸分野を有機的に組織し、個人と家族、地域と社会における健康で文化的な人間生活の理論的・実践的課題について、総合的・学際的な研究教育を行うことを目的に、主に企業等の健康開発部門や研修教育部門の担当者、生涯学習、社会教育、保健・助産・看護・医療・スポーツ関連分野の実務担当者、文化・医療・福祉等の行政に携わる方々といった現職社会人の方を対象として設置した大学院です。そのため、入学される方の職業も多岐に渡っています。

また、夜間学部は、夜間に開講されている全国で唯一の国立の教員養成課程で、5年制です。高等学校の新卒者はもとより、3年次編入学の制度も設けており、大学や短期大学を一度卒業された方々が熱心に勉学に励んでいます。在籍学生約400名の4分の1の方が有職者（アルバイトを除く。）です。

天王寺キャンパスで行う授業は夕方（夜間学部は17時45分から、大学院は18時から）から始まり、1日2限で終了（夜間学部は21時まで、大学院は21時10分まで）するため、社会人の方でも仕事と勉学の両立が可能で、学びやすい授業時間帯となっています。（夜間学部では土曜日は19時15分まで1限、健康科学専攻では土曜日は14時から4限の授業が行われます。）また、天王寺キャンパスは、JR天王寺駅から歩いて10分という都心部にあり、多方面からのアクセスに優れています。

多様なバックグラウンドを持つ幅広い方々との交流により、単に学修するだけではなく、幅広い視野と人脈が得られます。

◎必要な授業だけを選んで学ぶ
―科目等履修生制度

科目等履修生制度は、各大学の学部又は大学院で開講されている授業科目のうち、必要な科目や興味・関心のある科目だけを選んで履修する制度です。科目等履修生となるには一定の資格要件などが必要ですが、単位認定も行いますので、大学での単位を必要とする資格取得を目的とする人などがよく利用しています。主な資格としては、教員、図書館司書、学芸員、社会教育主事などがありますが、専門知識や教養を身につけるために科目等履修生となる人も増えています。

大阪教育大学では平成17年度88人（学部65人、大学院23人）の方が科目等履修生

の制度を利用し、そのうち学部の科目等履修生の方の大半は教員免許取得のため、また大学院の科目等履修生の方の大半は資格取得や専門知識の習得を目的にこの制度を利用されています。夜間大学院や夜間学部の授業科目を履修することも可能です。

◎興味のある内容を手軽に学ぶ
公開講座

公開講座は、一般市民向けに各大学が開いている講座で、専門講座から教養講座までジャンルも広く、その道の専門家である大学教員が講師を務めています。講座によっては1日・2日で終了するものや、半年間に渡って毎週1回開講されるものなどがあり、アカデミックな場で手軽に学ぶことができます。

大阪教育大学では、平成17年度一般の方を対象に語学講座、パソコン講座、実技講座など天王寺キャンパスと柏原キャンパスで合わせて40余りの講座を開講し、多くの方が受講されました。土曜日や平日の夕刻からの開講が多く、社会人の方でも受講が可能です。

平成18年度は、従来の講座に加え毎年12月に行われるホノルルマラソンに参加することを目標とした講座、防犯ブザーを実際自分の手で作ってみる講座等も開講する予定としています。

今回紹介した各制度の詳細については、大阪教育大学ホームページにてご覧になれます。

関心を持たれた方は、是非一度ご覧下さい。

夜間学部・夜間大学院について
http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~nibujm/nibu.html

科目等履修生制度について
http://www.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/kyomu/daigakuin/kenkyusei-info.htm

公開講座について
http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~llc

大学院教育学研究科
健康科学専攻
吉野　鈴子さん

平成2年頃から取り組んでいる研究は「高齢者・障害者の日常生活動作対応衣服」で、誰もが好きな服を着て、おしゃれを楽しめるように、個々が抱えている衣服問題を扱ってきました。その一環としてこの研究を系統的にまとめたく大阪教育大学の大学院教育学研究科健康科学専攻に入学しました。

入学して約1年が経過し、健康科学専攻の生活ではいろいろな職種の社会人と出会い、よい刺激を受け、新しい視野を持つことができました。また仕事が短大の非常勤講師ですので、講師と学生の両方の講義準備などが同時進行し、大事な取り決めを忘れたり、準備が間に合わなかったり、さらに睡眠不足が慢性化し、苦しい時期もありました。研究の方はこれから本格的に実験を始めることになりそうです。

現在大学院で取り組んでいる研究テーマは、福祉生活用品の研究開発―自助具“布製靴下すべり”です。研究内容は高齢者や身障者が抱えている生活用品の不便さを解消、または軽減する自助具の開発研究で、靴下を履くための自助具“布製靴下すべり”の有効性を検討することです。“布製靴下すべり”の役割は、靴下を履く際に足入れがスムーズで、靴下を引き上げることであり、それに関連する“布製靴下すべり”の素材特性（摩擦係数や曲げ剛性など）を明らかにすることが研究の具体的な内容です。

2年間で学んだことを活かし、教育に携わる仕事をずっと続けたいと思います。今後も研究を積み上げ、「高齢者・障害者の日常生活動作対応衣服」を集大成したいと思います。

教育学部
小学校教員養成5年課程
南　真澄さん

学ぶことはどういうことですか？　働くことは？　生きることは？　という質問をされても自分はまだちゃんとこたえられません。でもいつもそのことについて考えながら過ごしています。

自分が看護師をしながら大学に行くとは夢にも思っていませんでした。大学に行こうと思ったのは小児病院で働いていたのがきっかけでした。病院には生まれつき重度の病気をもつ子ども達が長期で入院しています。子ども達は入院のために学校に行けず、毎日痛くて辛い処置を受けています。子ども達は自分の病気を自分なりに受け止めており、そのことは子ども達にとって、とても厳しくて辛い現実です。それゆえ看護師として処置やケアで子ども達と関わることは必ずしも楽しいことばかりではありません。子どもの涙を見ない日はないのですから。

病院では長期で入院している子どもに対して院内学級といって、子どもの状態にあわせて授業が行われています。安静の必要な子どもに対しては先生がベッドサイドに来て授業を行います。長期入院のストレスで笑顔が消えていた子ども達も、院内授業の時には目が輝いて笑顔になります。病気を持っていて学校に行けなくても「学びたい」という子ども達の気持ちは強いことがわかりました。そして自分もいつか、障害や病気をもつ子ども達と一緒に学ぶことができたらいいなと思うようになり、働きながらでも教員免許のとれる大阪教育大学を受けたのでした。

入学してから病院は変わりましたが、今も小児科で働いています。昼間は仕事をして夜は大学で学ぶ毎日は、口で言い表せないくらい疲れますが気持ちはとても充実しています。今の自分にとって仕事も大学も同じくらい大切です。自分のやりたいことができている日々に感謝して仕事と学業をがんばりたいと思います。そして卒業する頃には学ぶこと、働くこと、生きることのこたえが見つかればいいなと思います。

紆余曲折で一直線の研究人生

情報科学講座 助教授
藤井 淳一（ふじい じゅんいち）

専門は何かと問われて一言で答え難いので、説明するには辿ってきた道から始めなければなりません。題からして矛盾していますが、変な研究者もいるということで文章を書かせていただきたいと思います。

私は学生時代からずっと本学所属で、学部・大学院と専門は解析学の一分野「作用素論」でしたが、数学教育に興味を持っていたことで、数学教育講座の助手として本学数学教室の一員となりました。古典的な数学教育の教材が興味の中心でしたが、やはり時代の流れはコンピュータ教育に向かい、その方面でも少なからず研究をしたことがきっかけで、現在の教養学科・情報科学講座へ移ることになりました。しかし、細々と続けていた作用素論が、現在では研究の中心になっているのですから人生は分からないものです。私が数学教室時代お世話になった、故・阿部浩一本学名誉教授も、御退官時の感想で「数学の研究者だったつもりが、いつの間にか数学教育の専門家にさせられてしまって…」と述べておられたのですが、それと全く逆の状況です。

現在では数学教育研究が従ですが、情報科学講座でも教員免許が出せるようになって、情報教育として経験やノウハウを活かすことができます。特に卒業研究では情報教育関連のテーマを望む学生が多く、学生と共同研究する形を取っています。コンピュータ・プログラミングについては、数学教育時代から「論理教育」という位置づけをしていますので、全く違和感なく入れ、今ではRubyという便利なスクリプト言語が気に入って、教育・研究によく利用しています。

一方、情報科学の各分野の研究も学生や院生の共同研究として続けています。作用素論は、解析学と言っても代数学に近く、符号理論や暗号理論にも手を広げられますし、光の「波」としての性質を積極的に利用しようとする光通信では、必然的に量子力学、しかも光なので無限次元作用素が必要な「量子情報理論」といわれる非可換な情報理論へも関連が深いのです。これらの分野も、実際卒業研究のテーマに何度か採用しました。

しかし、本職の研究は作用素論、特に作用素不等式です。私が学位をいただいた指導者は、「古田不等式」で世界の注目を浴びた古田孝之先生ですから当然なのですが、もともと院生時代に安藤毅先生が導入した作用素平均の研究から出発していますので、本人の「ジグザグ研究人生」の感覚に反し、足跡は殆どまっすぐな感じがします。その作用素平均が作用素エントロピーに発展し、量子情報理論や作用素不等式と深く関わるのですから、在学中の指導者である中村正弘・本学名誉教授の卓見の賜物というべきでしょう。特に数学の研究は、計画的に進めていける実験科学とは違って、先が全く見通せない博打に近い分野です。良いテーマにめぐり合えることは数学研究者にとって死活問題にも通じるほど重要ですので、先生には非常に感謝しています。

国際比較から社会の特徴をつかむ
―日韓村落調査―

社会科教育講座　助教授
小林（こばやし）　和美（かずみ）

私は、日本・韓国を始めとするアジアの地域社会と家族の特徴について、国際比較を行いながら研究しています。

私の研究では、文献資料を利用するだけでなく、現地を訪れてそこに住む人々の生活を観察したり、一緒に行事に参加したり、直接尋ねたりしています。研究チームを組んで、一緒に寝泊りしながら現地調査を行うこともしばしばです。平成17年4月と8月には、韓国忠南大学校の村落研究チームの調査に参加し、韓国のさまざまな村落を見てきました。伝統建築が保存され両班（ヤンバン）（朝鮮時代の支配階級）の子孫たちが暮らす宗族村、カトリック教徒たちが暮らす教友村、牡蠣の養殖に取り組む漁村などです。調査に訪れた村落では、結婚式の前祝いの宴に招かれたり、お葬式に行き当たったり、漁船に乗せていただいたりと、貴重な経験をさせていただきました。

韓国忠南大学校村落研究チームとの日本村落調査
（滋賀県西浅井町菅浦、左端が小林助教授）

韓国の村落を訪れてまず気付くことは、若い人が非常に少ないことです。日本の村落には、兼業化・サラリーマン化しながらも若い人たちがある程度残っているのですが、韓国の村落では、就業機会の不足や子どもの教育上の不利を理由にどんどん出て行ってしまいます。その背景には、家系継承意識の違いも存在します。家系継承において、祖先祭祀を最重要と考える韓国社会では、ソウルにいようが、アメリカにいようが、祖先祭祀をしっかりやっていれば子孫としての役割を果たしたことになるからです。「先祖から受け継いだ家屋敷や農地を自分の代で売り払っては申し訳ない」と考え、サラリーマンになっても村から通勤し、家と土地を管理し続ける日本の村落の人々とは異なっています。

調査のやり方についても、違いに気付くことがあります。韓国での調査のさい、巨大ダンボール箱いっぱいに用意されたお餅（胡麻油をからめた色とりどりの韓国のお餅です）を見たときには、驚きました。韓国の先生方は、お餅を紙皿に取り分けては、インタビュー調査に出掛けて行かれました。食べ物を持参して、村の人たちと一緒に食べながらインタビュー調査をするのだそうです。

今年の1月には韓国の先生方が日本に来られ、一緒に滋賀県内の村落調査をしました。日本の研究者が韓国の村落調査をすると、日本の研究者ならではの発見があるように、韓国の研究者のみなさんも、実際に日本の村落を見て、韓国の方ならではの発見をされたようです。国際間の研究交流が進むなかで、外国の社会への理解が深まるだけでなく、自分たちの社会への理解も深まっていくように思います。

韓国のカトリック教友村
（韓国忠清南道合徳（ハプドク）里）

教養基礎科目（総合科目）

自然派のための野外活動実習

スポーツ講座 助教授
永松（ながまつ） 昌樹（まさき）

ジャンボカヌーによる実習

これまで課程・学科、専攻やコースの壁を取り払っての学外施設を使用した実習は皆無でした。この「自然派のための野外活動実習」は平成17年度から自然研究講座の近藤高貴先生と協同で開講した授業で、「海」をテーマに自発的な探究心を育みます。

学内では決して体験できないアクティヴな海洋性レクリエーションにチャレンジし、加えて自然を身近に感じさまざまな生き物や植物などに触れます。自然観察では、海に潜る、川を泳ぐ、山に登るということになりますから、体力が必要ですし、ある程度の運動の能力も不可欠です。今回の実習では、自然観察ではシュノーケリングの技術を学んで、この技術を活用して海に潜りました。

この実習を通じて異なる興味や関心を持つ学生が集い、集団生活を通して「思いやりの心」を磨き、「チームワークの大切さ」を学ぶのです。また、こどもたちを野外へ引率するときにどれほどの注意力が必要かということを学んでもらいたいという望みもあります。多くの小学校、中学校で学校外の野外活動施設が使われていますので、教員養成大学が行う野外活動実習という意味も視野に入れています。将来の教師や地域のリーダー、何よりも学生の素養を高めようということが授業の目標です。

平成17年度は4月上旬から8月上旬にかけての全体ガイダンスの後、近藤先生の事前授業「鳴く虫の講義」を行い、8月29日～31日までの間、徳島県の阿南市にある国際海洋スポーツセンターを訪れました。マリンスポーツを体験するだけではなく、自然の観察や生活体験ができる場所です。

野外活動実習での最初のプログラムは、1人乗りのカヤックから始めました。夕食後にはキャンプファイアでの出し物やゲームなどを班ごとに考える時間を設け、グループのメンバー間交流をはかりました。第二日目には午後に磯観察がありますので、午前中土砂降りの中、シュノーケリングの実習をやり、昼食をはさんで150キロのジャンボカヌーに1班6人で乗り込んで30分ほど漕ぎ、「野々島」という無人島に渡って磯観察を実習しました。最終日は、「二人乗りのヨット」もしくは「ウインドサーフィン」のどちらかのセーリングを選択します。この他、磯観察以外の生物観察もそれぞれの実習プログラムの間を使って実施しました。

平成18年度の予定も準備中です。この授業を受けるときっと、自然観、人生観がかわります。

磯観察の様子

大阪教育大学 附属高等学校池田校舎

温かい「心」を育む学校
深い「学び」のできる学校
広い「せかい」に羽ばたく学校

附属高等学校池田校舎
副校長　奥村 芳和

附属高等学校池田校舎は、今年50周年を迎えます。昭和31年に創設され、池田市緑丘の陸軍砲兵工廠ガラス工場の跡地に建設されてからの歳月は、当時の自然林や卒業記念樹を成長させ、100mのけやき並木や巨大なヒマラヤスギの大木、バレーコートを取り巻く桜の園、くぬぎや赤松の自然林に囲まれた緑豊かなキャンパスを出現させました。春の芽吹きのシーズンが特に美しく、新学年を迎える生徒・先生に生きる活力を与えてくれます。

フィリピンPNU附属高校にて

現在一学年4クラスで全校生徒約480名、教員28名、卒業生は7000名を越えました。昭和47年に生徒の服装を自由化し、同年から前・後期の二期制を採用し34年が経過しました。このような教育環境のなかで、個を大切にし、自由で自主・自律を尊ぶ校風が培われてきました。お互いに顔の見える小規模校でこそ可能になった校風といえるでしょう。

本校では、新しい時代への教育改革をめざし、この十数年をかけて国際教育、情報教育、人権教育、横断的・総合的学習を進めてきました。平成15年4月に文部科学省研究開発「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）」に指定され三年が経過しました。また、同年7月ユネスコ協同学校（ASPnet）に加盟しました。

平成17年1月、日本政府が提案し国連総会で採択された国際的学習テーマ「持続可能な開発のための教育」（Education for Sustainable Development）に基づき、総合的学習での取り組みを発展させた国際教育を進めています。文科省・ユネスコ日本委員会・ユネスコアジア文化センター（ACCU）・本学の特別研究経費から支援を得て、平成16年7月の「附高祭」に中国の人民大学附属高校・韓国の上黨（サンダン）高等学校・タイRajabhat Institute Thepsatri附属高等学校・フィリピン教員養成大学附属高等学校から16名の先生と生徒を招き、平成17年1・3月には、本校生がタイ・フィリピンを訪問、同年11月には韓国から12名の先生と生徒が来訪し、「学びあい」と「協同研究」の相互交流が進んでいます。平成18年3月には、安藤財団の支援を得て、中国に10名の生徒が出かけました。SELHiの目標である「英語が使える日本人の育成」の実践の場にもなっています。

アユタヤ世界遺産見学

生徒たちは、学校への高い帰属意識のもとに、クラブ活動・生徒会活動に励んでいます。また、学ぶ心を持続し高める努力を続けています。

今、附属高等学校池田校舎は、温かい「心」を育む学校・深い「学び」のできる学校・広い「せかい」に羽ばたく学校を目指して、新しい教育活動を続けています。

夢プロジェクト進行中

「既存の組織・形にとらわれない自由な発想で、大学を構成するみんなの夢を形にしていこう!」と昨年5月に若手教職員20名で発足した夢プロジェクトチームがまとめた報告書には、教職員、学生を始め学内外から募集した夢が291件掲載されています。

夢のなかには、キャンパス内にミュージアムや劇場、Barの設置を提案するものから、キャンパス環境や授業の改善、研究に関することなど様々な提案がありました。

現在、スクールバスに対する提案の実現に向けての検討や、学内に美術品や芸術作品などを飾ったりすること、学生の憩いの空間を整備することなどについて検討を進めていくことが決まっています。

まだまだ夢の実現には遠い道のりが予想されるものも多いですが、少しでもみんなの夢が実現するよう努力を続けています。

AEDを設置

大阪教育大学では、柏原キャンパスの保健センター及び体育館、天王寺キャンパスの中央館、各附属学校園保健室にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。AEDとは、電気ショックを与えることにより、致死性の不整脈の状態となった心臓を、正常な状態に戻す機器で、平成16年7月からは、一般市民による使用が認められました。最近は、空港やスポーツ施設などに設置が進んでいます。

本学では、従来の心肺蘇生法に加え、AEDを実際に用いた普通救命講習会（心肺蘇生法、止血法など）を行っており平成17年度には、600名を超える学生・教職員が受講しました。

「自転車安全指導キャンペーン」を実施

平成17年12月9日、平野警察交通課の行う「自転車安全指導キャンペーン」に平野地区の附属学校4校園が参加し、自転車マナーアップを訴えました。当日は警察署のミニパトで幼・小・中・高付近の道路を中心に広報活動を行う傍ら、多数の町内会役員の方々も応援に駆けつけ、保護者や副校園長・安全主任が路上に立ち、自転車に乗っている人にチラシと啓発物品（反射板）を配り、安全運転を呼びかけました。

児童・生徒に登校時の交通ルールを守らせる指導は学校の責務として、常に啓発していかなければなりませんが、通勤時間帯の自転車は猛スピードで通り過ぎ、見ていてハラハラものです。

9日は幼・小・中・高の保護者と学校代表者を合わせて21名が路上に立ちましたが、次からは約15名が常時当番にあたり、啓発と見守りを行いました。

3学期もこの取り組みを継続しようと、養護学校を加えた5校園で揃えた交通安全の旗を持ち、早朝より保護者の皆さんが輪番で指導に当たっています。

数学の魅力

数理科学講座教授　宇野（うの） 勝博（かつひろ）

有限群の表現論というのが私の研究分野です。この分野は大変抽象的ですが、化学や理論物理に繋がっていたり、言語学、統計学への応用が突然見つかったりと魅惑的なこともあります。ここに登場する様々な群達のふるまいを詳しく見ていると、色々なピースがうまく絡みあって全体を構成していることが判り、その絶妙さには感動すら覚えます。群を数学として定義したのは、ガロアというフランス革命の頃に生き、恋敵との決闘に敗れて21歳の生涯を閉じた青年です。群、フランス革命、若き青年、恋、こんな取り合わせにロマンを感じ、虜になったのは私だけではないでしょう。また、群を定義したのは人間ですが、群そのものは、もっと大きな力を持ったものが創造し、我々人間がその存在に気付いたに過ぎないとも感じます。

ところで、小説「博士の愛した数式」を読まれましたか？映画にもなっています。ここでは、数学に対する真摯な姿勢、数学を学ぶ喜びなどが美しい文章で綴られています。すべての皆さんにぜひ読んで欲しいと思う作品です。今年1月、この小説の著者小川洋子さんを大学にお招きし、座談会を行いました。今一番注目されている作家が生の声で語る「小説とは」「言葉とは」の話には重みがありました。また、「博士の愛した数式」完成までの心の動き、映画製作の裏話、果ては、阪神タイガース論まで飛び出し、聴衆は終始目を輝かせて聞き入っていました。

数学は道具という側面もありますが、人間がその長い歴史の中で見いだした摂理だとも思います。しかも、自然の中で見つけたというより、心の中で見つけた摂理です。数学のもつ美しさを感じ、伝え、さらなる美を見つけられる人を育てることが大切だと考えています。それができる人のみが、教師、研究者、技術者として次の時代を切り拓いて行けると思うからです。これからも、数学を学ぶすべての人に通じる心を伝える努力を続けたいと思います。

キャンパス散歩

グリーンアドベンチャー

共通講義棟正面入り口の右手にグリーンアドベンチャーのスタート地点を示す常設コースの案内看板があります。ここからグリーンアドベンチャーをスタートするとすぐに一つ目のパネルが発見できます。このパネルはQ&Aパネルになっておりその植物名を導き出す手がかりが書いてあり、パネルをめくるとその植物名や特徴、生活との関わりを確認できるようになっています。

このグリーンアドベンチャーのコースには50本の様々な樹木が指定されています。それらをゲーム感覚で周ることで、樹木に対する自らの知識が再確認できるとともに、何気なく見過ごしている樹木のなかには珍しい種類の物もあることも発見でき、非常に有意義な時を過ごすことができるのではないでしょうか。

グリーンアドベンチャーとは

コース内に設定された植物について名前を調べていく野外活動で、社団法人青少年交友協会が全国に72箇所の常設コースを設置しています。平成17年9月大阪教育大学に国立大学法人としては2箇所目のコースが設置されました。

天遊 VOL.5
2006年3月発行　企画・編集・発行／国立大学法人大阪教育大学企画課　ホームページ／http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/

◇平成18年度公開講座実施予定◇

対象		講座名	実施期間	時間帯		募集人員	開講キャンパス	募集時期
学校教職員等		実践小学校英語教育法入門	5/13～7/15	18:30～20:00	金	25	天王寺	4/3～4/21
				16:00～17:30	土			
		SPSSで学ぶ公衆衛生・健康教育講座（初級編）	7/29～9/2	13:30～16:30		32	天王寺	6/26～7/14
		SPSSで学ぶ公衆衛生・健康教育講座（応用編）	10/7～10/28	13:30～16:30		32	天王寺	8/28～9/22
		国語の力・物語工房 ー理論と実践ー	8/4	16:00～19:30		20	天王寺	7/3～7/21
		小・中学校教員のためのパソコン教室（Excel編）	8/28～8/30	10:00～16:00		32	天王寺	7/24～8/11
		特別支援教育と個別の指導計画	10/21、10/28	10:00～16:00		30	天王寺	9/19～10/6
		ピア・サポート実践講座	8/26～9/9	10:00～16:00		30	天王寺	7/24～8/11
一般市民	授業公開	ドイツ語会話　初級から中級へのステップ・アップ	4/18～7/4	19:30～21:00		15	天王寺	3/6～3/24
		中国語ⅠA（初級A）	4/11～7/18	17:45～19:15		10	天王寺	3/6～3/24
		中国語ⅠB（初級B）	10/3～1/23	17:45～19:15		10	天王寺	8/28～9/15
		中国語ⅡA（中級A）	4/11～7/18	19:30～21:00		10	天王寺	3/6～3/24
		中国語ⅡB（中級B）	10/3～1/23	19:30～21:00		10	天王寺	8/28～9/15
		韓国語ⅡA（韓国語会話と韓国文化論A）	4/10～7/17	19:30～21:00		10	天王寺	3/6～3/24
		韓国語ⅡB（韓国語会話と韓国文化論B）	10/2～1/22	19:30～21:00		10	天王寺	8/28～9/15
	語学・教養講座	タイ語講座A	5/13～7/29	13:00～14:30		25	天王寺	4/3～4/21
		タイ語講座B	5/13～7/29	14:45～18:00		25	天王寺	4/3～4/21
		タイ語講座C	5/13～7/29	18:15～19:45		25	天王寺	4/3～4/21
		ドイツ語入門 旅のドイツ語会話	9/8～9/22	18:30～20:30		15	天王寺	7/31～8/25
		ことば遊びの世界	7/5～7/19	14:00～16:00		50	天王寺	5/29～6/16
		能楽を楽しもう!	12/6～12/13	11:00～15:00		40	天王寺	10/30～11/17

対象		講座名	実施期間	時間帯		募集人員	開講キャンパス	募集時期
一般市民	パソコン講座	市民のためのパソコン教室 基礎編A	5/13、5/20	9:30～12:00		32	天王寺	4/3～4/21
		市民のためのパソコン教室 基礎編B	5/27、6/3	9:30～12:00		32	天王寺	4/17 5/12
		市民のためのパソコン教室 基礎編C	6/10、6/17	9:30～12:00		32	天王寺	5/8～5/26
		市民のためのパソコン教室 基礎編D	6/24、7/1	9:30～12:00		32	天王寺	5/22～6/9
	実技講座	書（春）	5/11～7/20	18:30～20:00		20	天王寺	4/3～4/21
		書（秋）	10/5～12/14	18:30～20:00		20	天王寺	8/28～9/15
		書道講座ー篆書・基礎①	7/1、7/2	13:00～16:00		20	柏原	5/29～6/16
		書道に親しむ（臨書2）	8/22～9/26	13:00～16:00		20	柏原	7/18～8/4
		美術（陶芸入門）	5/13～1/27	10:30～12:30		20	天王寺	4/3～4/21
		美術（陶芸）	5/13～1/27	13:30～15:30		20	天王寺	4/3～4/21
		美術実技 ー絵画表現の基礎ー	7/24～7/28	13:00～16:00		25	柏原	6/19～7/7
		楽しいジョギング教室 ーみんなでホノルルマラソンに参加しようー	5/28～11/26	14:00～17:00	土	60	柏原	4/17～5/12
				9:30～12:30	日			
		楽しいダイエット教室 フードとフィットネスサークル	7/14～10/14	10:00～17:00		30	柏原	6/12～6/30
		電子工作を楽しもう 防犯ブザーの製作	8/2	10:00～16:00		10	柏原	6/26～7/14
		音楽実技公開講座 ー管楽器（フルート・トランペット）を学ぶ人のためのー	7/15、7/16	10:00～16:00		10	柏原	6/12～6/30
		音楽実技公開講座 ー弦楽器を学ぶ人のためのー	7/15、7/16	10:00～16:00		10	柏原	6/12～6/30
		音楽実技公開講座 ー声楽を学ぶ人のためのー	7/15、7/16	10:00～12:00		10	柏原	6/12～6/30
		音楽実技公開講座 ーソルフェージュ・トレーニングー	7/15、7/16	10:00～12:00		30	柏原	6/12～6/30
		音楽実技公開講座 ーピアノを学ぶ人のためのー	7/15、7/16	10:00～16:00		40	柏原	6/12～6/30

講習料や実施日程などの詳細は、次のホームページアドレス等で随時お知らせしますので、あらためてご確認ください。http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~llc

『天遊』とは

「天遊」は、荘子の言葉から引用されたもので、人間の心の中に自然に備わっている余裕をあらわしています。キャンパス統合移転の記念に旧師範学校以来の同窓会3団体から寄贈された記念碑に銘文として刻まれています。

大阪教育大学のホームページが全国第2位に

日経BPコンサルティング社が行った「全国大学サイト・ユーザビリティ調査2005」で、大阪教育大学のホームページが全国第2位（国立大学では1位）という評価を得ました。

この調査は全国の国公私立大学220校を対象に行われたもので、開設しているホームページについて、主にその使いやすさ（ユーザビリティ）に重点を置いて評価が行われたものです。

昨年の全国第14位に続いて高い評価を得ることができましたが、順位に一喜一憂することなく、訪問される方にとってより「見やすい、使いやすい」ホームページ作りを目指しています。

本誌にご意見をお寄せください

本誌『天遊』は今後の誌面づくりに皆様のご意見を積極的に取り入れていきたいと考えています。ご感想やご意見、大阪教育大学についてお知りになりたいことなどをお聞かせください。

●宛先　〒582-8582　大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
国立大学法人大阪教育大学企画課
TEL.0729-78-3344　FAX.0729-78-3225
E-mail　kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
ホームページ　http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/

R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK アロマフリー型大豆油インキを使用しています。